

金融排除に関するインタビュー調査計画

【概要】

- ◆ 調査目的 金融排除の実態調査
- ◆ 募集人数 10～20 名程度
- ◆ 時期 2017 年 8 月～9 月頃
- ◆ 業務内容 調査対象者に対するインタビュー調査
- ◆ 謝金 1 名につき 3,000 円（所得税・交通費込）

【詳細】

- 調査目的 日本における金融排除の実態を明らかにすることにあります。生活困窮者が、自らの不安定な収入や限られた資産を管理し生活を守るうえで、金融サービスが貢献できているのか、金融サービスは生活困窮者支援のためにいかなる役割を果たし得るのかを考察することが本調査の目的です。
- 本インタビュー調査の特徴 研究メンバーは別途、ファイナンシャル・ダイアリー調査を実施しています。これは、ひとりの調査対象者に 1 年間継続してかかわり、家計を調べるものです。これに対し本インタビュー調査は、ひとりの調査対象者に 1 回だけ聞き取りを行うものです。ファイナンシャル・ダイアリー調査が少数を対象としているのに対し、本インタビュー調査は比較的大人数（全体で 100 名）を対象とします。
- 財源 日本学術振興会 科学研究費・基盤研究(C)「金融包摂による生活困窮からの脱却可能性」（研究代表者：小関隆志・明治大学経営学部准教授）計 4,550 千円
- 担当していただく調査対象者数 5～10 名程度の調査対象者をご担当ください。
- 時期 2017 年 5 月～9 月にかけて、支援団体から紹介された調査対象者にインタビューを行ってください。
- 調査員への研修会 2017 年 5 月～8 月の間に、調査員の方に対する研修会を開く予定です。調査の具体的な方法や留意点などをお伝えしますので、ご参加ください。
- マッチング 支援団体が利用者などに調査参加を呼びかけ、参加の了解を得られた場合は、支援団体が調査対象者と調査員の方とのマッチング（1 対 1 で結びつける）をします。調査員の方が、調査対象者に連絡を取り、訪問の日程・場所を話し合って決めます。基本的には調査員の方が調査対象者の自宅を訪問して行いますが、自宅以外の場所（支援団体事務所、喫茶店等）を選んでもかまいません。

調査員向け説明書

- インタビュー調査 調査員の方には、調査対象者と1対1で、90分間の聞き取りを行っていただきます。主な質問項目は質問用紙（別紙）をご覧ください。
- 苦情対応 万が一、調査対象者が調査員の方以外に苦情を申し立てる場合は、支援団体の担当者が一次対応に当たることとなります。
- 個人情報保護 調査対象者のプライバシー保護の必要性から、本インタビュー調査はすべて匿名で行います。調査員の方は、個人情報を保護する旨を対象者に説明してください。また対象者に、同意書に署名してもらいます。
- 謝金の支払い 調査対象者には、インタビュー調査の際に、ひとりにつき1,000円の謝金を立て替えて現金でお支払いください。

他方、調査員の方には、担当いただいた調査対象者数に応じて謝金をお支払いします（ひとりにつき3,000円）。研究メンバーの所属する大学を通じて、ご指定の口座に振り込みます。

- 問い合わせ先
（関東）〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 明治大学経営学部
小関 隆志 TEL/FAX 03-3296-2085（研究室）・080-9085-5274（携帯）
email: koseki@meiji.ac.jp